

1 研修のねらい

部局長クラス
(50歳代)

- 部局で取り組んでいる施策や今後進むべき方向の情報を集積
- これまでの業務経験から様々なノウハウやスキルを蓄積

情報・これまでの経験

新しい感覚・考え方

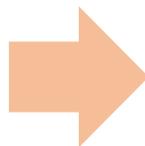
主査クラス
(30歳代)

- ルーチン業務が中心のため、施策課題に関わる機会が少ない
- 経験年数が少なく、様々なノウハウやスキルの蓄積はこれから

- 経験豊富な部局長クラス職員から今後の市政を担う若手職員へのノウハウの伝承
- 若手職員の政策立案が身近にあるという感覚の醸成、政策立案への意識の変革
- 市政の最新の動きを知り、視線を市政全般に向けられる機会・場の提供
- 幹部職員との意見交換による組織の風通しの向上、若手職員のキャリア形成の支援

研修の基本形態

講師 部局長



受講者 30歳代職員

1人当たり1講座
(1講座20人を上限)

本年度は初めてのトライアルのため、様々な分野の業務に携わる事務職を対象

- 時間は1時間以上、2時間以内
- 受講者は、講師の担任部局以外の職員に限定（自部局職員は各部局長が必要に応じて実施）
- 講座開催、受講者募集は職員研修所に対応

受講者の募集方法など

- 講座ごとに受講者を募集（できるだけ募集はまとめる）
- 20人の上限到達で募集終了
- 受講者1人当たり1講座受講を原則とし、定員が上限に満たない講座が生じた場合は2講座まで受講可
- 対象者が講座定員を上回る分は、翌年度に受講

想定する研修の内容

- 各部局で現在解決すべき課題とそれに対応する施策
- 政策立案、実施に必要な知識、具体的な方法
- 業務経験・知見に基づく仕事の取組み方や考え方
- 過去の経験から後輩職員に伝えておきたいこと

- 受講対象者 30歳代事務職 概ね240人
- 講師 部局長 12人
(保健所・建設・都市整備・会計・議会・教育・上下水道・消防の技術・専門系を除く想定)
- 受講予定者数 12講座×20人 = 240人

A 専門分野(専門職)部門について

土木・消防などの各分野の中で、研修の計画を依頼する

B 自部局の研修について

各部局長は、余裕があれば、自部局の30歳代の職員に対し独自に研修を実施する

月	9月	11月	1月
講師	総務部長 企画政策部長 財政部長 地域・市民生活部長	保健福祉部長 こども未来部長 環境部長 商工観光部長	新産業創造推進局長 文化スポーツ振興部長 農林部長 企画政策部参事 (政策調整担当)
講座数	4講座	4講座	4講座

会場：会議室151(第一庁舎5階)、会議室203または講堂(第二庁舎10階)とする